

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 サノヤス・ヒシノ昌  
 コード番号 7020 URL <http://www.sanovas.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村進一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 森本武彦  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 大

TEL 06-4803-6171

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	13,802	—	44	—	115	—	△325	—
20年3月期第1四半期	15,346	14.6	274	△20.7	291	△19.5	△30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△10.00	—
20年3月期第1四半期	△0.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第1四半期	88,550	—	12,178	—	12.7	345.02
20年3月期	77,479	—	12,023	—	14.3	341.20

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 11,240百万円 20年3月期 11,115百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	32,500	2.7	1,050	119.3	1,000	120.5	50	—	1.53
通期	71,500	4.2	2,350	△8.4	2,250	△7.7	700	△21.5	21.49

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 32,600,000株 20年3月期 32,600,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 22,031株 20年3月期 21,987株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 32,577,980株 20年3月期第1四半期 32,582,288株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 経営成績につきましては当社グループは受注産業の性格が強く、個別案件の竣工時期が年度によって異なることがあるため、当第1四半期の短期間では必ずしも年度業績に反映しにくくなっております。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題や原油価格の高騰に伴う米国経済の後退懸念に加え、資源価格の高騰から鋼材など資機材価格の急激な上昇等によるコスト高が企業収益を圧迫し、個人消費の低下も招いていることから、景気は一段と減速傾向を強めてまいりました。

このような状況下、船舶部門では前年同期には受注のなかった新造船において資機材価格を考慮しつつパナマックス・バルクキャリアー、ハンディケープ・バルクキャリアー、ハンディマックス・バルクキャリアーなど8隻を受注し、LPGタンク、修繕船を含めた当該部門の受注高は47,763百万円となりました。陸上部門は新規顧客や将来に亘る受注活動に注力し、3,076百万円の受注高となりました。

第1四半期における連結業績につきましては、船舶部門において新造船の船価は改善しましたが、引渡隻数が2隻と前年同期より1隻減少したこと、陸上部門においても、建設用エレベーターの売上は増加しましたが、食品タンク、レジャー、化粧品製造用機械等の売上が減少したため、売上高は13,802百万円（前年同期比10.1%減）となりました。営業利益は第3四半期以降に見込んでいた鋼材価格の引上げが、当第1四半期にて決着せざるを得なかったことから、次年度以降に引渡しする新造船の一部において採算悪化を見積もることとなり、受注工事損失引当金を計上したことから44百万円（前年同期比83.7%減）となり、連れて経常利益も115百万円（前年同期比60.5%減）となりました。四半期純利益は、水島製造所における旧ゴライアスクレーン1基の解体撤去に伴う固定資産除却損や、レジャー遊園地における採算低下の著しい遊戯機械の減損損失等を特別損失に計上したことから、325百万円の四半期純損失（前年同期は30百万円の純損失）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は88,550百万円（前連結会計年度比14.3%増）となりました。これは主として、流動資産において前受金の増加に伴い現金及び預金が7,006百万円増加したこと並びに仕掛品が4,669百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は76,372百万円（前連結会計年度比16.7%増）となりました。これは主に、新造船等の受注に伴う前受金が9,513百万円増加したこと並びに支払手形及び買掛金が710百万円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は12,178百万円（前連結会計年度比1.3%増）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が626百万円増加しましたが、利益剰余金が488百万円減少したこと等によるものです。

## (自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は12.7%（前連結会計年度比11.5%減）となりました。

## (1株当たり純資産額)

当第1四半期連結会計期間末における1株当たり純資産額は345円02銭（前連結会計年度比3円83銭の増加）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、22,284百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、9,410百万円の収入となりました。これは主に、前受金が増加したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,279百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、328百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済及び配当金の支払等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は空調工事等において選別受注などから前回発表を若干下回る見込みであります。損益面につきましては、1. 連結経営成績に関する定性的情報ならびに別途お知らせしている業績予想の変更にて説明していますとおり、営業利益、経常利益、四半期純利益は第1四半期における受注工事損失引当金の計上に伴い、前回発表予想を前記のとおり修正します。通期業績見込みにつきましては、受注工事損失引当金の計上時期が第3四半期以降から第1四半期に繰り上がった為で、年度業績には折込済でありますので現時点においては変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これにより売上総利益、営業利益及び経常利益が3百万円少なく、税金等調整前四半期純損失が37百万円多く計上されております。なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,941	13,935
受取手形及び売掛金	5,666	7,124
有価証券	2,368	2,368
製品	408	431
半製品	16	16
原材料	478	495
仕掛品	24,770	20,100
貯蔵品	88	86
その他	2,604	3,441
貸倒引当金	△13	△19
流動資産合計	57,328	47,979
固定資産		
有形固定資産		
機械装置	7,887	6,876
土地	5,463	5,468
その他	7,468	7,441
有形固定資産合計	20,819	19,786
無形固定資産		
のれん	92	106
その他	582	531
無形固定資産合計	675	638
投資その他の資産		
投資有価証券	7,434	6,377
その他	2,506	2,914
貸倒引当金	△214	△215
投資その他の資産合計	9,727	9,075
固定資産合計	31,222	29,500
資産合計	88,550	77,479

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,044	14,334
短期借入金	6,932	6,247
未払法人税等	245	411
前受金	38,292	28,779
賞与引当金	232	423
船舶保証工事引当金	15	23
受注工事損失引当金	1,198	37
訴訟損失引当金	88	87
その他	1,306	1,234
流動負債合計	63,355	51,579
固定負債		
社債	34	34
長期借入金	7,596	8,446
退職給付引当金	4,908	4,952
役員退職慰労引当金	209	175
負ののれん	156	161
その他	112	107
固定負債合計	13,016	13,877
負債合計	76,372	65,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	1,110	1,110
利益剰余金	5,081	5,570
自己株式	△9	△9
株主資本合計	8,720	9,209
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,534	1,907
繰延ヘッジ損益	△14	△1
評価・換算差額等合計	2,519	1,906
少数株主持分	938	907
純資産合計	12,178	12,023
負債純資産合計	88,550	77,479

## (2) 四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

	(単位:百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	13,802
売上原価	12,742
売上総利益	1,059
販売費及び一般管理費	1,015
営業利益	44
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	114
その他	32
営業外収益合計	159
営業外費用	
支払利息	74
その他	14
営業外費用合計	88
経常利益	115
特別利益	
固定資産売却益	8
特別利益合計	8
特別損失	
減損損失	277
固定資産除却損	238
その他	97
特別損失合計	613
税金等調整前四半期純損失(△)	△489
法人税、住民税及び事業税	244
法人税等調整額	△437
法人税等合計	△192
少数株主利益	28
四半期純損失(△)	△325

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△489
減価償却費	767
減損損失	277
のれん償却額	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△44
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	34
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△190
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	1,160
受取利息及び受取配当金	△126
支払利息	74
為替差損益(△は益)	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	△8
有形固定資産除却損	238
売上債権の増減額(△は増加)	1,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,632
仕入債務の増減額(△は減少)	710
前受金の増減額(△は減少)	9,513
未収消費税等の増減額(△は増加)	866
その他	93
小計	9,702
利息及び配当金の受取額	122
利息の支払額	△30
法人税等の支払額	△384
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
定期預金の預入による支出	△203
有形固定資産の取得による支出	△2,147
有形固定資産の売却による収入	10
投資有価証券の取得による支出	△3
投資有価証券の売却による収入	171
貸付けによる支出	△20
貸付金の回収による収入	4
その他	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40
長期借入れによる収入	50
長期借入金の返済による支出	△175
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額	6,803
現金及び現金同等物の期首残高	15,481
現金及び現金同等物の期末残高	22,284



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	船舶部門 (百万円)	陸上部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,671	5,130	13,802	—	13,802
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	2	(2)	—
計	8,671	5,133	13,804	(2)	13,802
営業費用	8,636	4,745	13,381	376	13,757
営業利益	35	387	423	(378)	44

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 船舶部門…… 新造船、作業船、改造船、修繕船、LPG船  
(2) 陸上部門…… 鉄鋼構造物、駐車装置、建設機械、遊園機械、機械部品、自動車部品、空調・給排水・環境工事、ソフトウェア開発、乳化装置、攪拌機

3 会計方針の変更

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用により営業費用は、「陸上部門」で3百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アフリカ	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	7,315	7	7,322
II 連結売上高（百万円）			13,802
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	53.0	0.1	53.1

（注）1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アフリカ……リベリア

その他の地域……韓国

## 【販売及び受注の状況】

## 部門別売上高

事業の種類別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）	
	金額（百万円）	構成比（%）
船舶部門	8,671	62.8
うち新造船	2隻 7,315	53.0
陸上部門	5,130	37.2
合計	13,802	100.0

## 部門別受注状況ならびに受注残高

事業の種類別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）	
	受注高 （百万円）	受注残高 （百万円）
船舶部門	47,763	227,659
うち新造船	8隻 46,305	54隻 223,433
陸上部門	3,076	10,483
合計	50,840	238,143

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## (要約) 前四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金額(百万円)	
I 売上高		15,346
II 売上原価		14,110
売上総利益		1,235
III 販売費及び一般管理費		961
営業利益		274
IV 営業外収益		
1受取利息	90	
2その他	21	111
V 営業外費用		
1支払利息	82	
2その他	11	93
経常利益		291
VI 特別損失合計		223
税金等調整前四半期純利益		68
法人税、住民税及び事業税		92
少数株主利益		6
四半期純損失(△)		△30